

教育改善提案計画調書

所属学科名 (または所属課又は団体名) 大学事務局 教務課

応募者氏名(代表者氏名) 松永ひとみ

(注) 枠は適宜移動して下さい。ただし全体でA4で2枚までとします。
記述は12ポイントでお願いします。

| | |
|------------|--|
| 1. 提案名 | 1分でGO! |
| 2. 目的と効果など | <p>目的)</p> <p>文部科学省中央教育審議会「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～(答申)」(2013年)には、学生の「主体的に考える力」が打ち出されています。そのような大学の使命をもとに、全国の大学が新しい取り組みを実施しており、本学においても平成26年度より、開学以来の大きな教育改革実現に向け準備中である今、医療人としての底力教育の導入に伴い、そのような知識を獲得しつつ、自ら学び考える習慣を付けるためにも、アクティブラーニングは欠かせない方法と考えます。しかし、アクティブラーニングについて学ぶ機会がない上に、各教員がどの程度取り入れているか把握できないのが現状です。</p> <p>そこで学生が席について教員の話の話を聞くという体制から、主体的な学習を促すための取り組みの一つとして、きっかけとなればと思い提案をしました。よって受け身的な講義内容から、主体的な学習を少し促すことによって効果的に理解し、内容を修得できることを目的とします。</p> <p>効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1分間説明があるため、しっかり聞くようになる。 ・主体的に動くことによって、眠気も取れる。 ・理解できていない状況に教員が気付くことで、補足説明ができるなど、リスク学生のフォローにつながる。 ・アクティブラーニングをカリキュラムにつなげることは抵抗があるが、この程度なら賛同頂けるかもしれない。 ・全教室に用意しておくため、授業の雰囲気を感じ場面に応じていつでも自由に使えるため教員の負担も軽減。 |